

はにい

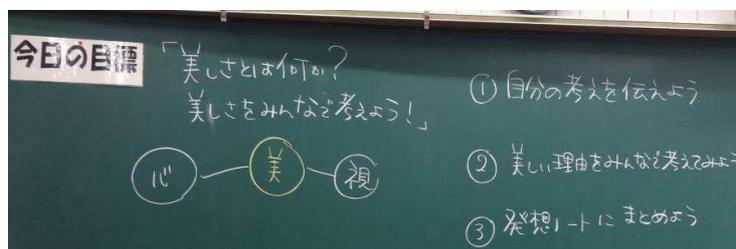
美しさとは何か？

平成25年3月22日

今日は中学校生活、最後の美術の授業です。

テーマは、「美しさとは何か？」

4人グループでお互いの「美しいと思うもの」をシェアしていきます。



「私は色に着目したんだけど、暗い色よりも明るい色の方が、見ると気持ちが高ぶったり、幸せに感じられて美しいと思うの。例えば、この青色と黄色の紙があるでしょ。この青色は静かな感じがして、そこでこの黄色の方を見ると、テンションが上がって、楽しい感じになるよ。この、幸せになる感じが美しいと思う。」

「黄色がいいの？」

「うん、輝いてる！」

「私は、自然物が美しいと思うんです。人間が手を加えて作るものじゃなくて、自然がつくりだした形が美しいと思います。」

「じゃあ、美術は、何を求めているの？」

「んー、人の手によるものも美しいとは思うけど、人工的に作られたものは、人の考えた形やイメージが入っちゃってる。」

「人工的なものは、美しくないってこと？」

「私は、自然のままが美しいと思う。」



今日の学習は、これまで「発想ノート」という小さなノートに各個人が蓄積してきたものがもとになっています。このノートは、生徒個人が、その時々、美しいと感じたものの写真、これまでの学習課題に関連する記事、作品制作の中で出合った素材等を貼り付け、それらの説明をつづったものです。

こうした学習を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情につながりたい。教師はそう考えているのでした。

専用メールアドレス： inochi4027@pref.kanagawa.jp